

	号外	定価1部2円	2017人勧闘争がスタート！勤務意欲が維持できる賃金改善や諸権利拡大に向け人勧闘争に結集を！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

2017人勧闘争① 人勧闘争スタート

6.20 公務員連絡会 人事院へ要求書提出

＝4年連続賃上げ・実効力ある長時間労働是正策が焦点＝

7.25人事院ヤマ場交渉に向け闘争強化

公務員連絡会（議長：石原富雄国公連合委員長）は、6月20日、2017人事院勧告に向けて一宮なほみ人事院総裁あて「2017年人事院勧告に関わる要求書」を提出し、2017人事院勧告闘争をスタートさせた（要求事項の概要は右表のとおり）。

併せて、吉田人事院人事官と交渉を行い、石原議長は、今春闘では定昇・賃金カーブ維持分に加えて、1,396円（6月1日現在）の4年連続の賃上げが実現した。とりわけ中小組合の賃上げ率は大手を上回る。造幣局及び国立印刷局の賃金も4年連続・0.29%相当の引き上げとする動向にあることを触れ、「本年も公務員給与について引上げ勧告は当然」と迫った。加えて、公務職場にお

ける厳格な勤務時間管理、超過勤務の上限規制を強く求めた。また、雇用の年金の接続に関し、2017骨太方針に「公務員の定年の引き上げについて具体的な検討を進める」旨の明記があることを踏まえ、定年延長の実現に向け政府に対応を求めるよう要請した。



回答する吉田人事官（左側）

これに対し、吉田人事官は「本年の勧告に向けて要求事項について意見を伺いながら、検討を進める」との姿勢にとどまった。

公務員連絡会は、今後事務レベルでの交渉を継続し、要求実現をめざして改善勧告を引出すため、7月25日を交渉のヤマ場として中央行動を配置しながら、8月上旬と見込まれる人事院勧告に向け、取り組みを強化していく。

【2017 人事院勧告に関わる要求書の主な概要】

- 賃金要求
 - ・月例給及び一時金の引上げ勧告の実施
 - ・諸手当等については職員の職務や生活実態を踏まえて改善を、住居手当も総合的に改善を
 - ・再任用職員の給与改善（定年前との均衡を考慮）
- 労働諸条件の改善（特に長時間労働是正）
 - ・超過勤務縮減のため、ICT等を活用した職場における厳格な勤務時間管理の実施
 - ・超過勤務縮減目標等の設定、上限規制の導入
 - ・公務における「勤務間インターバル」の確保
- 段階的定年延長の実現
- 非常勤職員の処遇改善



要求する公務員連絡会石原議長（右側）

高齢層職員の処遇改善の当局実績は？ 「まだまだ実感わかない！」・更なる改善実現を

4月25日の総務部長着任交渉時において、高齢層職員の処遇改善の実施状況（主幹任用発令状況、高位号給者の推移等）の提供を当局に求めた結果、今般、下表のとおり提供があった。

2017人事異動における主幹任用発令数は40人とどまり、かつ行政職5級（他の給料表適用者はそれに相当する級）の高位号給からの昇格は少なく、主幹任用による改善が十分発揮されていないことが浮き彫りとなった。行政職5級（他の給料表はそれに相当する級）の処遇改善のためには、主幹任用を含めた6級昇格の拡大が不可欠であり、勤務意欲確保のための更なる改善が求められる。

直近10年間の主幹発令状況

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	平均	2017	最高号給からの昇格	上位4号給からの昇格
事務	19	15	14	26	24	18	21	24	26	20	20.7	18	0	0
技術	10	15	19	18	18	17	16	22	34	26	19.5	22	1	1
合計	29	30	33	44	42	35	37	46	60	46	40.2	40	1	1

次に行政職5級の高位号給者の推移だ（下表掲載）。高位号給者は徐々に解消されているが、2015時点でも依然として5級の5割弱が上位4号給に集中した。2016年度以降は、給与制度の総合的見直しに伴う号給増設（8号）に伴い、一見して最高号給及び高位号給者は大幅減少した数値となっているものの、2016年度でもすぐ頭打ちとなった職員がいることも確認できる。さらに総合的見直し2年目の2017年度は、最高号給は約1割、上位4号給は15%弱となっている。これまで以上の改善策が取られなければ、号給増設となったとしても、賃金が上がらない頭打ちの職員数が増加することは明らか。

行政職5級の高位号給者の推移（知事部局）

給与制度の総合的見直し導入後
（8号増設後）

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
在級者数	830	800	725	661	646	668	690	710	676
最高号給（89号給）	358	453	428	411	375	353	352	324	270
（割合）	43.1%	56.6%	59.0%	62.2%	58.0%	52.8%	51.0%	45.6%	39.9%
上位4号給（86～89号給）	556	552	512	453	404	385	395	361	324
（割合）	67.0%	69.0%	70.6%	68.5%	62.5%	57.6%	57.2%	50.8%	47.9%

	2016	2017
在級者数	680	714
最高号給（97号給）	5	71
（割合）	0.7%	9.9%
上位4号給（94～97号給）	16	105
（割合）	2.4%	14.7%

（2017年度は暫定値）

当局実績を見ても、当局の対応は現場で踏んばっている職員に十分に報いている状況とは程遠い。これまで以上に高齢層職員の勤務意欲確保のための具体的な改善策を求め取り組みを強化していく。

宮古市議会議員補欠選挙・県職労推薦候補 島山 茂 働く者の代表として奮闘中！ 島山 茂さん 勝利に向け支持拡大を

6月25日投開票の宮古市議会議員補欠選挙は5議席に対して7人が立候補する厳しい選挙戦だ。県職労推薦候補・「島山 茂」さんは、JP労組出身（50歳・新人・無所属（社民党推薦））。唯一の労働組合出身の候補者であり、働く者の立場に立った政治の実現、憲法を暮らしに活かす市政の実現を公約としている。必勝に向け、組合員はもとより、友人・知人への支持拡大をお願いする。



政策を訴える島山茂さん